

平成31年度

物品購入仕様書

物品名 高規格救急自動車

納入場所 東松山消防署松山北分署

1. 支払方法

- 一括支払（全納品完了後）
※価格（見積り）に含まないもの
- ・重量税
 - ・自賠責保険料
 - ・登録手数料（印紙代含む）
 - ・自動車リサイクル料

2. 事業内容等についての ⇒ 担当課・施設名（ 警防課 ）
問 い 合 わ せ 先 担 当 者 名（ 神谷 ）
電 話 番 号（ 0493-23-2267 ）

設 計 年 月
平成31年4月

				合 議			
物品名	高規格救急自動車（車両）						
納入場所	東松山消防署松山北分署						
実施額		円	変更実施額		円		
内 訳	価 格	円	内 訳	価 格	円		
	消 費 税 相 当 額	円		消 費 税 相 当 額	円		
購入額		円	変更購入額		円		
概 要	高規格救急自動車 1 台 ・ ホイルベース：約 3,200mm 以下 ・ 全長：5,700mm 以下 ・ 駆動方式：フルタイム 4WD 又はパートタイム 4WD ・ ミッション：オートマチック ・ 使用燃料：レギュラーガソリン ・ 納入期限：令和 2 年 2 月 1 4 日						
実 施 理 由	車両の更新 令和 2 年 2 月で 8 年経過。走行距離は約 202,000 km 到達予想。 現在、外気温が上昇する夏季はエアコンが効かない状態であり、スライドドアオートクロー ジャーも故障中。また、後退時のバックモニターも不良状態であることから、納期は 2 月 1 4 日と なっているが、可能な限り早急に対応していいたいと考えております。						

令和元年度

高規格救急自動車仕様書

【東松山消防署 松山北分署】

比企広域消防本部

目 次

第1	総則-----	1
1	目的-----	1
2	車両の条件-----	1
3	車両の製作工程表及び設計図書の提出-----	1
4	外注先の監督-----	1
5	検査-----	1
6	完成図書等の提出-----	2
7	登録の代行-----	2
8	納入-----	2
9	製作中の問題処理及び事故防止-----	2
10	疑義の解釈-----	2
第2	仕様-----	2
1	仕様諸元-----	2
2	艤装-----	5
第3	検査-----	1 1
1	中間検査-----	1 1
2	完成検査-----	1 1
3	合否の判定-----	1 1
第4	補足-----	1 2
	その他の規定-----	1 2

別表 1

第1 総則

1 目的

この仕様書は、比企広域市町村圏組合（以下「当組合」という）が令和元年度に購入する高規格救急自動車（以下「本車両」という）について必要な事項を定めることを目的とする。

2 車両の条件

本車両は、この仕様に基づき作成されるとともに、救急業務の高度化に対応する車両として構造及び性能は次の条件を満たしたものであり、国で定める高規格救急自動車の規定並びに道路運送車両法、その他関係法令の規定に適合するものであること。

- (1) 最新の技術を導入し、堅牢で耐久性に富み、全般的な調和があること。
- (2) 使用取扱いの操作性に優れたものであること。
- (3) 点検、修理及び清掃が容易に行えるものであること。

3 車両の製作工程表及び設計図書の提出

契約後、受注者は速やかに製作工程表（中間検査及び完成検査予定日を含む）、外注先一覧表（品名、数量、会社名、所在地及び電話番号を記入）及び本仕様書に基づき設計された次の関係書類を1部提出し、当組合の承認を得ること。

- (1) 諸元明細書
- (2) 製作概要図
- (3) 車体及び艤装図
- (4) 積載機器等の配置図及び取付け図
- (5) 計器盤関係図
- (6) 電気配線図
- (7) ボンディングワイヤー取付け図
- (8) ヒューズ・電球の数量及び容量一覧表
- (9) その他は発注者が必要とする資料

4 外注先の監督

車両製作において艤装の一部を他の業者に外注する場合は、本仕様書の内容を十分満たすよう当該業者を監督すること。

5 検査

- (1) 検査は、中間検査及び納入時の完成検査とする。
- (2) 検査を受けようとする時は、2週間前までに検査日時及び場所を当組合に連絡し、承諾を得ること。
- (3) 検査は、当組合の指示に従って受けること。

- (4) 検査結果を、当組合が不合格と認めた場合は当該箇所を改修の上、再検査を受けなければならない。

6 完成図書等の提出

完成検査終了後、又は納車に際して、次の資料を各1部提出すること。

- (1) 設計図書、外注先一覧表（外注した場合のみ）を製本したもの。
- (2) シャシ、エンジン修理書
- (3) 取扱い説明書及び点検整備要領書
- (4) 完成車両全体図
- (5) 積載品等の一覧
- (6) その他発注者が必要とする資料

7 登録の代行

受注者は、車両新規登録手続きを代行し、検査を行わなければならないものにあつては、これに合格した後に納入すること。

8 納入

納入に際しては、車両及び積載品等の点検整備を実施するとともに、当組合の仕様書のとおり製作されているか点検後、令和2年2月14日までに当組合に納入すること。

また、納入期日までに緊急自動車登録確認書の受理が完了し、緊急走行が可能な状態とすること。

9 製作中の問題処理及び事故防止

車両の製作にあたり、問題が発生した場合又は事故が発生した場合には、速やかに当組合に報告するとともに責任を持って解決すること。

10 疑義の解釈

本仕様書の内容についての疑義が生じた場合は、当組合と協議の上解決すること。

第2 仕様

1 仕様諸元

(1) 車両本体

ア 車両本体は、シャシ、ボディー及び付属装置から構成されるものとする。

イ 構造は次のとおりとする。

(ア) 外板は金属製とすること。

(イ) 前後輪荷重及び左右荷重の均衡を考慮すること。

(ウ) 堅牢で、耐久性に優れ、全般にわたり防水性を考慮していること。

- (エ) 金属板等の切断面及び溶接部は、危険防止のため安全な処置を施してあること。
- (オ) 補強材は、十分な大きさ及び厚みを有するものであり、機能性を考慮して確実に補強すること。
- (2) 使用材料及び部品の規格
 - ア 主要構造には、一般構造用圧延鋼材を使用し、その他の材料は次によること。
 - イ プラスチック類は、全て難燃性のものを使用すること。
 - ウ ゴム製品は、全て耐油性の合成ゴムを使用すること。
- (3) 車両積載品及び取付け品
 - ア 車両積載品は、最新の規格かつ、新品のものを使用すること。
 - イ メーカーが公表した標準取付け品及び付属品は、全て取付けること。但し、当組合で不要と認めたものについてはこの限りではない。
- (4) 車両標準仕様その他の仕様
 - ア パワーウインドウ装置を備えること。
 - イ ラジオを備えること。
 - ウ デジタル式時計を運転室に備えること。
 - エ バッテリーは、120AH以上を備え、装備品が十分使用できる容量のものを設置する。
 - オ オルタネーターは、本車両の機能を十分発揮できる容量並びに出力は、140A以上又は、1,680W以上を有するものであること。
 - カ 傷病者室に両側スライド式サイドドアを備え、助手席側ドアステップ面にアルミ縞板保護枠、立面にアルミ筋板を取付け、ステップ専用ランプを取付けること。また、照明が設けられている場合は、その照明に保護枠を取付けること。
 - キ ナンバーには、ナンバー枠を取付けること。
 - ク 緊急走行時及び後退時に音声合成装置を備え、かつ任意に吹鳴を停止できるスイッチを備えること。また、アンプのウー音スイッチを増設すること。
 - ケ フロントドア左右にサイドバイザーを取付けること。
 - コ 左バックミラー部、又は左フロントフェンダー前部にアンダーミラー、フロント左右ドアに後部確認ミラー、後部ドアに後部確認用ミラーをそれぞれ取付けること。
 - サ 4輪にラジアルタイヤを装備すること。スペアタイヤも含む。なお、納車時はスタッドレスタイヤ装着とする。
 - シ 半ドア警告灯を取付けること。
 - ス 排気管は側方排気とする。
 - セ タイヤチェーンを積載すること。(ゴム製一式・スチール製一式)
 - ソ 樹脂製(黄色)のタイヤストッパーを1組積載すること。
 - タ 運転席及び助手席にフロアマットを取付けること。

- チ フロントドア、各スライドドア厚み部分に赤色反射シールを可能な限り貼ること。
- ツ リアドア及び各サイドドアに半ドア防止自動装置を装備すること。
- テ リアドア厚み部分に警光灯と連動で点滅するLED表示灯を装備すること。
- ト ナイロン製4t用牽引ロープ1本と、反射式事故防止板1組を積載すること。
- ナ 電気配線の内、露出するものについては走行振動等により躍動断線故障のないように被覆し適宜クランプし、結線は半田付け又は接続端子を用い、予備ヒューズ及び予備球を各5個積載すること。
- ニ 後輪左右を照らす路肩灯(LED式)を取付けること。
- ヌ フォグランプを取付けること。
- ネ 車両左上部に旗立てを装着すること。
- ノ 運転席及び助手席上部に赤色LED点滅灯を取付け、車両上部両側面に作業灯を2個ずつ取付けること。
- ハ ドライブレコーダーを取付けること。
- ヒ ナビゲーションシステム(バックモニター含む)を設けること。
- フ ヘッドランプをLEDとすること。

(5) 車両寸法

ア	全長	約5,700mm以下
イ	全幅	約2,000mm以下
ウ	全高	約2,600mm以下(アンテナ部除く)
エ	ホイールベース	約3,200mm以下
オ	トレッド(前)	約1,600mm以上
	(後)	約1,600mm以上

(6) 傷病者室内数寸法

ア	車室長	約3,300mm以上
イ	車室幅	約1,700mm以上
ウ	車室高	約1,800mm以上

(7) エンジン型式

ア	総排気量	約2,400cc以上
イ	種類	4気筒以上ガソリンエンジン
ウ	最高出力	約145PS/4,800rpm以上
エ	最大トルク	約21.7kgm/3,200rpm又は約24kgm/3,800rpm
オ	使用燃料	レギュラーガソリン(ハイオク仕様は不可)

(8) 動力伝達装置

ア	駆動方式	フルタイム四駆又はパートタイム四駆
イ	トランスミッション	電子制御4速オートマチック
ウ	ステアリング	右ハンドル・パワーステアリング

エ 制動装置	(前)ディスクブレーキ (後)ドラムブレーキ
オ その他	
(ア) 乗車定員	7名以上
(イ) 燃料タンク	60L以上
(ウ) 泥よけ	前後4箇所
(エ) ABS装置	

2 艙装

(1) 内装等

- ア 運転室の装備品は、別途指示がある事項を除き標準装備とする。
- イ 材料については、色調の調和をはかること。
- ウ 天井は、断熱材及び電子サイレン音の遮音を考慮し、二重構造とすること。
- エ アンテナ台座の取付け部には点検口を設けること。
- オ 運転室の床は、水洗い等に十分耐える防水装置を講ずること。
- カ 運転席右側付近にフレキシブルマイクを設け振動に耐えられるよう固定すること。
- キ 助手席にスポットランプを取付けること。
- ク 運転席と助手席の間に地図入れ（A3・蓋有）、運転席後部に地図入れ（A3）を設けること。
- ケ 運転席後頭部上段にヘルメットフックを設けること。
- コ 助手席後部にパーテーションボードを設け、パーテーションボードにはウェルパス収納庫、ヘルメットフック（前・後面）を設けること。また、運転室と傷病者室は常時行き来できる構造とし、間仕切りを付加すること。
- サ 傷病者室フロア全面に内装色と調和する色調のロンリウム張り、水洗いが可能な構造とすること。なお、コーナー部分及び積載品等の防水処理は十分留意すること。
- シ 傷病者室内の使いやすい位置にホワイトボード（A4）を取付けること。なお取り付け位置は協議すること。
- ス 車両用消火器を取付けること。なお、設置箇所は後部隊員席（前向き）の下部とする。

(2) ドア

- ア 運転室の左右側面、傷病者室の両側面及び後面にはドアを設けること。
- イ 後部ドアは、通常の使用時において閉鎖時にスムーズに固定できるものであること。
- ウ 後部ドアは、跳ね上げ式でメインストレッチャー等の出し入れに支障のない幅及び高さを有し、後部ドア下部にはアルミ製ステップを設け、メインストレッチャー等の出し入れに際し、直接ボディーと干渉しない様、保護策を講ずること。

(3) 窓

- ア 主要の側面ドアの窓はスライド式に開放できる構造とし、確実に固定できるストッパーを設けること。
- イ 傷病者室の左側面は全面曇りフィルムとし、スライド扉の一部を透明とする。後部は熱線吸収3/4曇りフィルムとし、右側面は全面白色フィルムとする。後部は難燃性のカーテンを取付け、電動式とする。また、ガラスはプライベートガラスまたはスモークフィルムを基準とすること。

(4) 座席

- ア 運転室の座席数は、2座席とすること。
- イ 傷病者室の座席数は、4座席とし、前向きヘッドレスト付き隊員席1座席（固定ベルト付）と横向き2座席（収納ボックス付）を設け、傷病者を2名搬送時には、サブストレッチャー使用可能な構造とし、固定ベルトを取り付けること。また、メインストレッチャー頭部側に1座席設けること。
- ウ 各座席には、シートベルトを取付けるとともに、背当てを設けること。

(5) 冷暖房装置及び換気装置

- ア 運転室及び傷病者室を同時に冷暖房できる冷暖房装置を取付けること。但し、操作スイッチは運転席及び傷病者室に設けること。
- イ 傷病者室に電動換気装備を取付け、操作スイッチを傷病者室に設けること。

(6) 資機材収納ボックス

- ア 傷病者室側面に資機材を収納するための収納ボックスを最大限設けること。なお、当組合指定の除細動器・監視用モニター・人工呼吸器及び輸液ポンプ・吸引器等の取付け位置は傷病者の頭部から胸部にかけて設置できる構造とし、電源を必要とするものにあつては電源配線を行うこと。
- イ 収納ボックスの構造は堅牢で、寸法精度が高く、歪み又は隙間等がないように製作し収納物が損傷を与えない措置を講じ、ボックスの開口部扉は走行中の振動により開放しない固定装置を設け、かつ、固定解除が容易にできること。なお、収納ボックスのいずれかに施錠機能を付加させること。
- ウ 傷病者頭部直近に吸引器用電源コンセントを設けること。
- エ 傷病者室の横向き2座席の下部は収納ボックスを設けること。
- オ 縦型収納ボックス（傷病者室：運転席後）は高さ調節及び取外し可能な2段棚を設けること。
- カ 傷病者室の有効な位置にクーラーボックスを積載すること。（8L程度）
- キ 傷病者室の資機材等を取付ける資機材収納ボックスのレイアウトは当組合と協議して設置すること。
- ク バックボード等の搬送資機材の収納については、出し入れの際の干渉による破損を防ぐ構造であること。（詳細については当組合と協議する）
- ケ 標準装備の手洗い装置を改造し、当組合指定の収納庫に変更すること。
- コ ダストボックス（マグネット付）を用意すること。

(7) 酸素吸入装置

- ア 酸素吸入装置用 9.4 L ボンベ 2 本の収納固定装置を設け、減圧弁が室内から容易に操作でき、車両右側スライドドアから取付けできる構造とすること。
- イ ボンベの固定は受け台及びワンタッチベルト、フック付とし、個別に脱着できる構造とすること。
- ウ 酸素吸入及び人工呼吸装置用の配管は次のとおりとすること。
 - (ア) 減圧弁から高圧ホースにより三方チーズに接続できる構造とすること。
 - (イ) 酸素配管については、クランプ等により固定すること。
 - (ウ) 減圧弁と三方チーズ接続部及び加湿流量計と人工呼吸装置接続部のジヤックはワンタッチ式とすること。
 - (エ) 傷病者頭部近くの側面等に、酸素マスクが収納可能な扉付ボックスを設けること。
 - (オ) 配管は、主として打板等の内側に配管し、室内に露出しない構造とし、点検が必要な箇所は点検できるようにすること。
 - (カ) 配管は、十分な耐圧及び耐蝕性を有し、振動・衝撃等に耐える材質を使用すること。
 - (キ) 当組合より指定された人工呼吸器が接続できる構造とすること。また、耐圧検査を実施すること。

(8) ストレッチャー関係装置

- ア 傷病者室右側方にストレッチャー積載架台装置（防振）を取付けること。
- イ 積載架台装置は、仰臥位の傷病者の体位変換及び左右にスライド固定が可能な構造とし、車体から伝わる振動及び横揺れを軽減させることのできる構造を備えていること。なお、ストレッチャーの出し入れは、傷病者の体位が水平状態で行える構造であること。又、積載部分のフロント寄りに傷病者保護用の脱着式のヘッドレストを設けること。
- ウ リアドア下部に乗降用大型ステップを設けること。
- エ リア乗降用ステップ上部リアバンパーヘプロテクター（アルミ若しくはステンレス縞板製）及び滑り止めを取付け、ステップに突起がある場合は、ゴム等によりカバーをすること。
- オ 積載架台装置（防振）に積載するメインストレッチャーは、当組合より指定されたものを積載すること。
- カ スクープストレッチャー及びバックボードは、専用収納装置を設けること。なお、全ての収納装置にあつては安全かつ堅牢な構造の装置によって、脱着が簡単な方法で固定すること。（取付け位置は、当組合と協議すること）

(9) 点滴ビン固定装置、輸液ポンプ

- ア 傷病者室ME機器ラック上部に点滴ビン固定装置（2本以上）を取付けるほか、傷病者室天井に当組合により指定された数の固定装置を取付けること。
- イ 輸液ポンプには必要な台座（パイプ等）を取付けること。

(10) 電装品関係

ア 電子サイレン（拡声装置付）及び大型散光式警光灯は次によること。

- (ア) 電子サイレンアンプは、ダッシュボード又は、その付近に設け、出力50W以上とし、スイッチ操作によりピーポー音とサイレンが同時吹鳴できる構造とすること。また、音声メッセージスイッチと出動予告スイッチを運転席側及び助手席側に増設すること。
- (イ) 運転席右ドア上部に拡声用のフレキシブルマイクを取付け、切り替えスイッチによりハンドマイクが使用可能な構造とすること。
- (ウ) フロントグリル下部にモーターサイレンを取付け運転席及び隊長席にスイッチを設けること。
- (エ) 大型散光式警光灯（LED式）は、キャブルーフ上前端寄りに水平に取付け、配線は台座内を通して配線する。
- (オ) 救急活動時に隊員等の安全を高めるため、ルーフ後部左右に赤色灯（LED式）を取付けること。
- (カ) フロントグリルへ左右対象にLED点滅灯を警光灯と連動させ取付けること。

イ 照明電源関係

- (ア) 傷病者室内の照明は調光付とし、4灯の蛍光灯（LED式）を設けること。
- (イ) 傷病者室に室内灯スイッチを設けること。
- (ウ) 傷病者室には傷病者の観察を容易に行える位置に調光付スポットライトを2個設け、スイッチは傷病者室に備え各々サージカルライトが別々に点灯するようにすること。
- (エ) 傷病者室後部（リアドア上部）に照明角度が自在に調整できるスポットランプを設けスイッチは傷病者室に設けること。
- (オ) 電池式サーチライトを備えること。
- (カ) 傷病者室にAC100Vコンセントを6個以上使用に適した位置に設けること。なお、コンセントについては、外部電源入力時、外部側が優先となるようにすること。

ウ サイドフラッシャーランプ

左右フロント部にサイドフラッシャーランプを取付けること。

エ インバーター装置

傷病者室にAC100V－300W以上の正弦波インバーターを取付け、取出口は車内に接地型2極差込み接続器を必要数設けること。但し、電源取出口の位置は当組合と協議すること。

オ 外部電源入力装置

車両後方にマグネット式の外部電力（AC電源）入力コンセントを設け、その入力コードは10mとし、外部電力の入力時には、エンジンが始動出来ない

構造とすること。

カ バッテリー管理機を設けること。

キ 配線関係

艀装の各種配線の電源は、ヒューズボックスを設け配線するとともにヒューズボックス内に使用用途を明記すること。

ク 電装品

電装品は、無線障害の無いものを使用し、エキゾーストパイプとボディー、各ドアとボディーの間は、ボンディングワイヤーを設けること。

(11) 監視装置

監視装置(SPO₂プリンタ付)を傷病者の頭部付近に設置できる構造とし、FRP製の収納キャビネットボックスに固定する場合には固定台等にはスチール製の補強材を設け、監視装置は容易に脱着可能な固定式とする。また、監視装置に供給する電源は、外部電源を優先とする構造とすること。なお、取付けには必要な台座を用意すること。

(12) 自動車電話装置

ア 自動車電話の本体(充電器付・支給品)を傷病者室内に設置すること。

イ 自動車電話本体に供給する電源用配線をする事。

ウ 取付けに必要な台座を用意すること。

(13) 無線電話装置(AVM装置含む)

当消防本部適合無線電話装置(デジタル無線・支給品)およびAVM装置(支給品)の取付けを行うこと。

ア 無線メーカーと事前に調整し、設置及び関連工事に遺漏のないように留意すること。

イ 使用取扱上の安全性及び操作性に優れたものであること。

ウ 点検、修理及び清掃が容易に行えるものであること。

エ 運転室内に通信機器等を当組合の指定場所へ取付けること。なお、本体及び配線等を施工すること。

オ 無線用アンテナ(新品)をルーフ上(位置にあつては要協議)に設け、同軸ケーブルを無線本体の取付け位置まで配線すること。

カ 傷病者室に無線送話機を取付け、無線機本体取付け位置から傷病者室の指定位置に取出し余長を十分とり六芯ケーブルを配線すること。

キ 無線機本体・AVM装置に供給する電源用配線及びブラケットを施すこと。

ク その他、無線電話装置及びAVM装置取付けに関し、必要とされる事項について不備又は取付け位置等指定のないものについては、別途協議の上速やかに対応するものとする事。

ケ 取付けには必要な台座を用意すること。

(14) その他の艀装及び取付け品

ア フロントパネル中央部に消防章(径150mm)を取付けること。但し、樹

脂製消防章を取付ける場合は、裏補強すること。

イ サイド収納ボックス内に救助工具を格納できるようにし、また、収納ボックス内は、バール、ボルトクリッパー、ウインドガラスカッター、レスキューアックスを積載すること。

ウ 足踏み式汚物容器は、容易に脱着できるものを設けること。

エ 傷病者室の天井部にネット式の物入れを取付け、車両内で移動等の際に使用する手すりを取付けること。

オ 患者室右側面に手すりパイプを設けること。

カ C型バネフックを傷病者室に必要個数取付けること。

キ 傷病者室の見やすい位置に電波式デジタル時計及び温度計、湿度計を取付けること。なお、時計・温度計・湿度計が一式のものも可とする。

ク 傷病者室にアネロイド血圧計用の取付けスペースを確保すること。

ケ 各収納箱等には、収納物を表示できるネームプレートを取付けること。

コ 運転席及び傷病者室の各スイッチに名称を表示したプレートを取付けること。

サ 各ステップヘサンドペーパー型すべり止めを貼ること。

(15) 共通事項

ア 積載する資機材は、使用に適した位置に設け、振動等に耐えられ容易に脱着ができること。また、各資機材本体については、別表に定めるとおりとし、関係するメーカーと十分な協議の上取付けること。

イ 取付け品は、無線障害の少ないものを使用するとともに補強等を施し、スイッチ及びコンセント等には銘板を貼付すること。

ウ 電装品は、電極等が露出しないものであり、配線は原則として室内に露出しない構造とすること。

エ 各装置の液量及び油量が容易に確認できるものであること。

オ 特別艙装及び付属品等は別表のとおりとし、本仕様において不備又は取付け位置の指定のないものについては別途協議の上指示するものとする。

(16) 塗装及び記入文字

ア ボディーの塗装は、板金完了ボディーに完全防錆処理を行い、その工程は確実に剥離、ひび割れ等が発生しない様、白色焼き付け塗装を施すこと。

イ 車両の前後左右側面に70mm巾の赤色帯のシールを貼ること。ただし、保安基準に抵触しない部分については全て赤色反射式シールを貼ること。

(別途協議)

ウ 塗装にあつては、素地調整を十分行った後、上塗りを適正に行い仕上げること。

エ 車両左右両側は左読みで「比企広域消防本部」とバランスを考慮して記入すること。文字は丸ゴシック体とし、保安基準に抵触しない部分については青色反射とすること。(大きさ及び位置は別途協議)

- オ 車両前部・左右両側・後部は左読みで「松山北救急1」と文字は丸ゴシック体とし、保安基準に抵触しない部分については青色反射とすること。(大きさ及び位置は別途協議)
- カ 車両左右両側上部には、当組合の指定する文字及び図柄を記入すること。(色・大きさ及び位置は必ず別途協議すること)なお、前記文字中には、大きさ、バランスを当組合と協議し、当組合指定図柄を付加すること。
- キ 車両後部には、当組合の指定する文字を記入すること。
- ク ルーフにバランスを考慮し対空表示文字を記入すること。
表示文字は「松山北A」及び「埼玉」とする。(色・大きさ及び位置は別途協議とする)
- ケ 車両左右ドア部分に消防章(銀色シール式)を貼ること。(色、大きさ及び位置は別途協議とする)
- コ 車両外周には保安基準に適合した、再帰性に富んだ反射材を貼り付けること。(色、大きさ及び位置は別途協議とする)

第3 検査

1 中間検査

中間検査は、次の事項について行うものとする。

- (1) シャシ及びエンジンの形式・製造番号
- (2) 電装装置及び配線の取付け状況
- (3) 車両の各寸法
- (4) 取付け品の各寸法及び形状
- (5) 積載品の構造、形状及び性能
- (6) 中間検査における塗装状況

2 完成検査

完成検査は、次の事項について行うものとする。

- (1) 車両等の外観及び完成寸法
- (2) 電装装置の取付け状況
- (3) 取付け品の取付け状況及び作動状況
- (4) 付属品、積載品の設置状況及び作動状況
- (5) 塗装状況
- (6) 点検整備状況

3 合否の判定

- (1) 各検査項目を検査した結果、本仕様に適合しない箇所がある場合、又は、作動状況等に不良箇所がある場合は不合格とする。
- (2) 不合格と判定された個所については、すべて是正の上、再検査を受け検査に

合格しなければならない。

第4 補足

その他の規定

- (1) 本車両の運用開始までの経費は、受注者の負担とする。
- (2) 本車両の新規格登録検査の諸手続きについては、受注者に委任する。
- (3) 本仕様書に定めない事項についても、受注者が公表した仕様については機能上必要と認めるときは、当組合と協議の上施工すること。
- (4) 本仕様書に疑義が生じたときは、当組合と協議し、その指示に従うこと。
- (5) 保証期間は、車両の納入後1年とする。ただし、製造及び販売業者が1年を超える保証期間を定める製品及び部品については、当該業者の定める保証期間とする。

また、保証期間後といえども設計、製作及び、材料不良に起因する故障等が発生した場合は、無償にて修理を行うものとする。

別表1 高規格救急自動車（車両）

	品名	備考	数量
1	メインストレッチャー	ファーノ4080-S/4155 抗菌マット ガードル架 枕	1式
2	電子サイレン	大阪サイレン製 OPS-D151Q（後継機種がある場合は後継機種とする）	1式
3	赤色警光灯	LED式	2個
4	消火器	ABC粉末消火器	1本
5	無線電話装置	比企消防適合品（アンテナを含む支給品）AVM移設、取外し・取付けを含む	1式
6	モーターサイレン		1台
7	レスキューツール		1セット
8	スタッドレスタイヤ	ホイール付	4本
9	スペアキー		3個
10	クーラーボックス		1式
11	タイヤチェーン	ゴム製・スチール製	2式
12	タイヤストッパー		2個
13	牽引ロープ	ナイロン製	1式
14	反射式事故防止板		1個
15	足踏式汚物容器	ステンレス製若しくは樹脂製	1式
16	保育器固定装置		1式
17	スクープストレッチャー固定器具		1式
18	バックボード固定器具		1式
19	カーナビゲーション	バックアイカメラ付	1式
20	赤色点滅灯	大阪サイレン製LF11D・2個（フロントバンパー）	2個
21	赤色点滅灯	大阪サイレン製LF12D・4個（車両左側面2・右側面2）	4個
22	作業灯	大阪サイレン製LED型・4個（車両左側面2・右側面2）	4個
23	外部電源入力エンジンストップ		1式
24	大型デジタル時計		1式
25	温度計・湿度計		1式
26	外部電源入力コード		1式
27	ネームプレート	艤装に含む	1式
28	消防章		1式
29	サイドバイザー		1式
30	記入文字		1式
31	反射テープ	仕様書本文指示箇所	1式
32	フレキシブルマイク		1式
33	助手席アウトサイドミラー		1式
34	ナンバー枠		2式
35	間仕切り	艤装に含む	1式
36	ドライブレコーダー	DREC4000 同等品可	1式
37	音声合成装置	バック・メインスイッチ	1式
38	フロアマット	運転席・助手席	1式
39	LED路肩灯	メインスイッチ含む	1式
40	ホワイトボード	A4サイズ	1式
41	アナロイド型血圧計固定装置		1式
42	サーチライト	ファイヤーバルカン	1式